

集まれ図案屋さん



日本テキスタイルデザイン協会が主催で図案展（即売会）を開催しました。日ごろ描きためられたフリーの図案を販売希望の方や、新しい出会いや仕事を望まれている方などのビジネスチャンスを広げるための展示会として企画しました。さらに、会員以外の方にも広く声をかけ一般会員・賛助会員拡大をも目指して行いました。

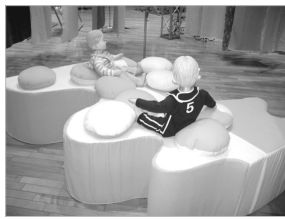
- 第2回図案展 ■日時：平成17年10月26日(水) 10:00~19:00
■場所：久松区民館 1, 2号室 東京都中央区日本橋久松町1-2 tel. 03-5640-5606
■参加者：古屋興一、桑和成、小川久、豊方康人、浪江陽子、宮島直子、古関崇尚
- 第3回図案展 ■日時：平成18年2月27日(月) 10:00~19:00
■場所：久松区民館 1, 2号室 東京都中央区日本橋久松町1-2 tel. 03-5640-5606
■参加者：桑和成、古屋興一、豊方康人、浪江陽子、斎藤憲夫、古関崇尚、エイム

高野口パイルファブリックデザイン開発事業

報告



ダイナミックな高さ5mの生地展示



ユニークな発想の商品開発



アートな感覚が評価されたソファ

和歌山県高野口のパイル織物産地の有志企業13社が、平成18年3月16日、17日の2日間、東京六本木のオリベホールにて、初の単独展示会を開催しました。これは、和歌山県が平成17年度から始めた企画提案型産地形成支援事業の第1弾として高野口パイル織物産地が支援を受け、株式会社大阪繊維リソースセンターが総合コーディネートをしながら、TDAの会員デザイナー2名との協働でテキスタイル開発及び、斬新な商品サンプルを開発しました。高野口産地は、基布に毛（パイル糸）を織り込んだ特殊有毛生地を生産する国内唯一の産地。しかし、海外品の流入などで生産額はピーク時の5分の1にまで縮小しています。このままでは産地にもものづくりの火が消えてしまう危機感から、有志企業13社が立ち上がり企画提案型の産地を目指しこの取り組みを行いました。本事業を推進するに当たり、TDAには、リソースセンターから公募の形を取り、最終的に正会員の朝比奈由起子氏と仁井佳代子氏の2名のデザイナーを選出し、今回の取り組みに協力していただきました。アパレル分野向け商品とインテリア分野向け商品に分け開発したテキスタイル及び二次製品サンプルは、「キュート&ラグジュアリー」を素材開発のテーマとし、季節感（四季）をキーワードに視覚、聴覚、触覚など人間の感性に訴えるものづくりを目指しました。アパレルとインテリアの2つのカテゴリーが同居する商品開発でしたが、業界内外から「大変ユニークで斬新な発想」と高く評価されました。今回の成功事例を基に、今後も国内産地の活性化に向けて、産地とTDAの接点を探りながら、産地に不足しているソフト力を充実できるよう、産地企業とTDAのつながりを、リソースセンターとしてもさまざまな方向で考えていきたいと思っています。（尾原 久永）